

医学の未来をリードする 人材育成

三重大学大学院医学系研究科の「国際推薦制度による留学生教育の実質化」が、平成20年度文部科学省大学院教育改革支援プログラムに採択されました。このプログラムは、国際推薦制度で選ばれた留学生と本学の学生が切磋琢磨することで、がんや感染症など体の内外から生体を脅かす様々な侵襲と、それに対する体の反応(生体侵襲ダイナミクス)や治療法開発についての教育・研究の活性化を目指しています。



三重大学の留学生受け入れ基盤

◎国際水準の研究指導体制

「3つの教育研究グループ」
研究の中心は **がん** と **マラリア**

◎アフリカ・中南米・中東・アジアを中心とした国際交流実績

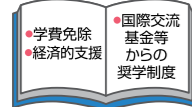


20年以上にわたりJICA(国際協力機構)のプロジェクトで留学生を受入



平成20年度は31名をアフリカ・中南米へ派遣

◎安心して留学できる環境



●学費免除
●経済的支援

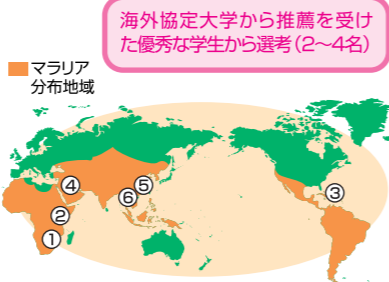


●国際交流基金等からの奨学制度
●外国人留学生宿舎など宿泊施設を確保

教育プログラム

海外協定大学

- アフリカ
① ザンビア大学(ザンビア)
② ムンビリ大学(タンザニア)
中南米
③ イベロアメリカン大学(ドミニカ)
中東
④ シャルジャ大学(UAE)
アジア
⑤ 上海交通大学(中国)
⑥ 廣西医科大学(中国)

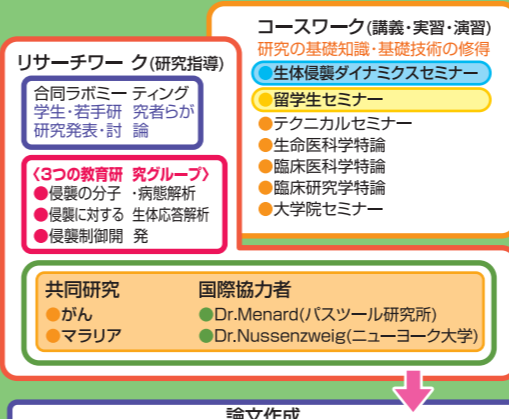


海外協定大学から推薦を受けた優秀な学生から選考(2~4名)

三重 大学大学院医学系研究科

「生体 侵襲ダイナミクス」プログラム

1年
2年
3年
4年



研究の基礎が確立し、研究継続が可能な場合、帰国して学位論文を完成させる。

eラーニング・カンファレンス
教員交流

国際学術交流

- 海外協定大学の教育研究環境の整備
- 卒業生の研究・研修のサポート

遠隔研究指導

国際的な医学と医療の向上に貢献



三重大学は産学官連携による地域イノベーションという重要な使命を担っていますが、同時に国際的視野に立った独自の教育・研究も行っていきます。その一つの試みが国際推薦制度による留学生の受け入れです。アジア、アフリカ、中南米などからの選りすぐりの元氣な留学生が、日本人学生に与える影響は計り知れません。三重大学はグローバルな視野を持った人材の輩出を目指しています。

野阪 哲哉
(三重大学大学院医学系研究科・教授)

- 日本人学生 …三重大学から国際的な研究者誕生!
- 留学生 …母国の教育界・医学界をリードする人材誕生!

★国際的評価の高いがんとマラリア※の研究★

がん発生



胃がん

マラリア感染



ハマダラ蚊

3つの教育研究グループの連携により
ワクチン開発・遺伝子治療・薬物治療などにおける新規治療法を開発します。



※マラリアは熱帯・亜熱帯地域でハマダラ蚊に刺され、マラリア原虫が体内に侵入することにより感染する、年間数億人に感染し数百万人が死亡する世界最大の感染症です。

★生体侵襲ダイナミクスセミナー★

約30講義を国内外の第一線で活躍する研究者が行います。

- 専門講義
- 科学英語の使い方
- 英語論文の書き方
- プレゼンテーションの指導



Prof. Anthony R. Means, Ph. D.に熱心に質問する留学生



研究成果を世界に発信するノウハウが学べるね!

English writing of scientific papers (英語論文の書き方)

- 考察に結果の内容を繰り返すな。
- 全データを提示したい誘惑に惑わされず、作業仮説に関するデータのみを示せ。
- 方法は過去形で、考察は現在形で。



Prof. Peter D. Wagner, M.D.

★留学生セミナー★

最新機器による実験手法を中心とした、少人数制の英語による講義です。

- 細胞培養法・PCR法・電気泳動・プロット法
- 免疫酵素法・フローサイトメトリー



病態解明医学講座ガバザ(Gabazza Esteban)教授が担当しました。



フローサイトメトリーのトレーニング

日本人学生も留学生からパワーをもらって頑張ってるよ!

